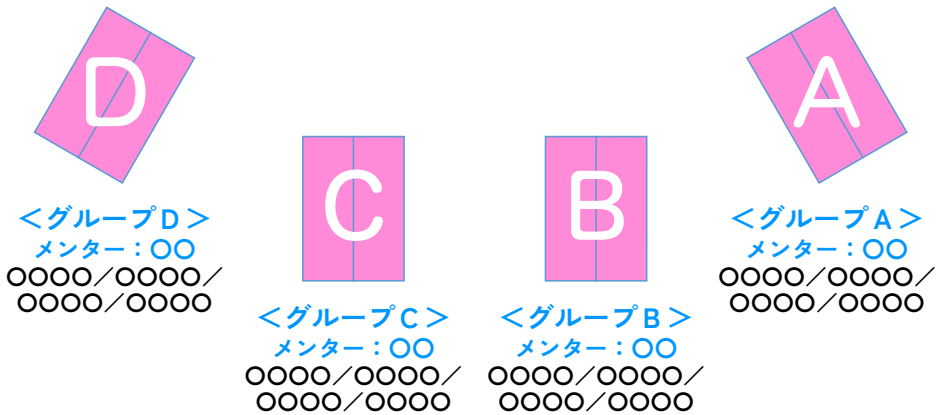


共生社会フォーラム in 広島

福祉支援語り部養成研修 〈1日目〉

おなまえ

スクリーン



本研修の目的

全ての国民が、障害をはじめとする生きづらさの有無によって分け隔てられることなく、人の尊厳の輝きを認め合いながらともに生きる共生社会の実現が求められています。しかしながら、“生きる意味のない命がある”、“障害者は社会に不幸をもたらすだけ”という考えに同調する声もあるなかで、共生社会を実現させるためには、その基本理念について福祉分野をはじめ広く社会に普及させる必要があります。誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念等について学び、自らの実践につなげ、さらには所属や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修を組み込んだフォーラムを実施します。

01

本研修に関わるスタッフ

【メンター】

個人、グループ作業など、わからないことがあったら、
まずは、この人に聞きましょう。

【アドバイザー】

特定のグループではなく、会場全体を巡回しています。
積極的に、アドバイスをもらいましょう。

【進行役】

研修全体の運営と調整、進行を担当します。

【事務局】

研修全般に関することで、わからないことがあれば聞いてください。

02

福祉支援語り部養成研修 一般プログラム

プログラム・内容	シート
<p>基調講演① 「共生社会に求められるアダプテッド・スポーツの重要性」 加地 信幸 氏 広島文化学園大学 人間健康学部 スポーツ健康福祉学 学科長・教授 1971年広島県出身。県立広島特別支援学校教諭などを経て2017年より広島文化学園大学教授。県立広島女子大大学院修士課程修了。重度障害児者のスポーツや指導者養成が専門。2007年にHBG重度・重複障害児スポ・レク活動教室「はなまるキッズ」設立・代表。博報賞特別支援教育部門（2017）、文部科学大臣表彰（2021）、保健文化賞（厚生労働大臣賞ほか、2022）など受賞。著書に障害児体育の授業など多数。</p>	2
<p>基調講演②「いのちに意味がある ～私たちは何を大切にしてきたのか～」 奥田 知志 氏 植草学園大学副学長・教授／毎日新聞客員編集委員 1963年滋賀県生まれ。関西学院大学・大学院卒。東八幡キリスト教会牧師、NPO法人抱樸理事長、NPO法人ホームレス支援全国ネットワーク理事長、公益財団法人共生地域創造財団代表理事、一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事、一般社団法人全国居住支援法人協議会共同代表。NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演。著書多数。</p>	3
<p>【映像】NHKスペシャル「ラストメッセージ この子らを世の光に」 日本初の公的福祉施設「近江学園」設立に尽力した糸賀一雄と彼を支えた池田太郎や田村一二らについて紹介。障害のある子どもたちと寝食を共にし、生き生きと暮らす糸賀や職員たちの姿を記録した当時のフィルムに映るのは、まさに「福祉」の原点と言える。</p>	4

03

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

§	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	共生社会の根幹にある、 福祉の思想と普遍的な価値を 理解する	【ワークA】研修プログラム①を考える 【ディスカッション】共生社会について考える 【全体共有】
B 16:55~ 翌14:30	相模原障害者施設殺傷事件に対する さまざまな意見から多様な考え方と “違い”を理解する 「問いかけ」を言語化し、 共感のためのいくつかの 「語りかけ」を言語化する	【ワークB-0】感情の整理 【オリエンテーション】 【ワークB-1】感情の源泉の整理 【ワークB-2】「問いかけ」による言語化 【グループ共有】 【オリエンテーション】 【ワークB-3】「語りかけ」による言語化 【ディスカッション】「問いかけ」「語りかけ」の検証 【全体共有】
C 14:40 ~16:00	自分の職場をイメージしつつ、 語りの場を実践していくための アクションプランを作成する	【オリエンテーション・事例紹介】 【ワークC-0】語る相手を想定する 【ワークC-1】語りの場のコンセプト整理 【ワークC-2】アクションプランの作成 【ワークC-3】アクションプランの共有と更新 【まとめ】総括と決意表明テスト

04

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

S	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	◎二元論の思考・発想ではなく どちらともいえないという第三軸 ◎答えはでないという考え方	
B 16:55~ 翌14:30	◎自分の内面（感情・思考）と向き合う ◎“もやもや”との対話 「わからない」「もやもや」の言語化 「問いかけ」と「語りかけ」による対話	
C 14:40 ~16:00	◎実際に、語りの場を考える	

04

【オリエンテーション】

<p>所要時間</p> <p>30分</p>	<p>【作業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修プログラムの概要説明 ・アイスブレイク+チェックイン
-------------------------------	--

メンターの3つの役割

その① 時間管理

- ◎作業/共有/議論の時間は限られています。グループの状況をふまえて、調整の有無など進行役に合図してください。
- ◎受講生は作業に集中して、時間を意識外に置きがちです。作業状況を見ながら、時間の経過や残り時間を伝えてください。残り時間によっては、その後の時間配分と作業内容の修正を行い、時間内にまとめてください。
- ◎議論が白熱した状態で、残り時間が少なくなった時には残り時間を伝え（進行役も全体にアナウンスします）、収束を促して、次の話題やテーマにとりかかりましょう。

メンターの3つの役割

その② 司会進行

- ◎グループで「内容共有」と「意見交換」をおこないます。基本的には、異なる意見を持つメンバーがフラットに意見交換できる場づくりが求められます。
- ◎「内容共有」では、決められた時間のなかで、テーマに対して、全員が意見を出す（作業内容を報告する）ことが重要です。伝える内容の優先順位を意識づけしましょう。
- ◎「意見交換」では、場面に応じ、何から議論をしていくか決め、メンバーの意見を引き出すための的確なパス回しの役割が求められます。

メンターの3つの役割

その③ 記録確認

- ◎メンバーから出された意見を整理しながら、議論の流れをコントロールする役割が求められます。
- ◎受講生の理解を深めるために、発言を書き留めながら、共通するキーワードを見つけたり、混乱した意見を整理するために図式化したり、議論があらぬ方向に進み始めたときに軌道修正することが求められます。
- ◎また、全員が発言できているかを確認し、発言回数が少ないメンバーがいれば、どう考えているのかなどを聞く「確認作業」も忘れずに。

メンターの引き出し

状況、メンバーのリアクションをふまえて、引き出しの言葉を効果的に使って、議論をすすめましょう

【深掘りする】「もう少し詳しくきかせて～」、「例えば？」

【要約・翻訳】「要は、～ですね」、「～という？」

【話題を振る】「他には？」、「どんな感じですかね～？」

◎現場や実情を知りすぎて、自由に意見が出せない受講生がいる場合があります。まずは、この場が、その人の立場から、望ましい改善方法や技術的な解決を考えるための時間ではない、ということを伝えてあげてください。立場や課題を切り離して、この正解のない（誰も答えがわからない）問題に対して、個人として、かつ、グループのメンバーと一緒に向き合う時間であり、「あなたは（人として）どう思うのか、どう感じているのか」という部分を中心に、意見や言葉を引き出してください。

アイスブレイクとチェックイン

チェックインはアイスブレイクに含まれるとも言える

【アイスブレイク】

メンバー個人やグループの緊張をほぐすための時間。
共同で簡単な作業やワークをすることが多い。

【チェックイン】

メンバー個人の気持ちを調整するための時間。
どんな状態や気持ちにあるかを共有することが多い。

「研修に対する期待と不安」に重要なヒントがあり、
特に不安はフォローをしつつ、研修を進める。

重たい話題やテーマは、入り口の雰囲気づくりが重要

アイスブレイク：誕生日順に並ぶ

【進め方】

- 1月1日から誕生日の早い順に、一列に並びましょう
生年ではなく、月日だけで並ぶこと！
- ・ ルールは、声を出さない、手を使わない（腕組みする）
- ・ 全員が1列に並び終えたグループは、
最も早い誕生日の人が手をあげて、進行役に合図
- ・ 全グループが並び終えたら、グループで答え合わせ
- ・ 間違った場合は入れ替わる
- ・ 誕生日が今日に近い人には拍手を！

チェックイン

メンバーが、それぞれどんな状態や気持ちにあるかを共有する。グループで調整していくための時間。

不安や苦手は、グループ全員でフォローしましょう

【進め方】

- メンバー全員で「シート1を使った自己紹介」
+ 「今回の研修に対する期待と不安に感じること」を共有
- まずはメンター、心の準備ができた人から順番に
- 各自の持ち時間は1分、メンターも含め全体で7分

【事前準備シート】福祉支援語り部（中堅）

シート
No. 1

ふりがな	職種	福祉業界での 経験年数
おなまえ	所属	
《研修に参加した動機》 <input type="checkbox"/> 自ら希望して <input type="checkbox"/> 推薦 または 指名されて <input type="checkbox"/> その他（ ）		
《研修に参加した理由》	《研修にあたっての不安》	
《研修原簿書き後設投書事件のことを聞いて、 あなた自身が、その当時、感じたこと、考えたこと》	《研修原簿書き後設投書事件のことを聞いて、 あなたの職場や周囲で、おこった反応や感じた雰囲気》	
《※買一冊関連資料（テキスト「ほほえむちから」およびテキスト資料1・2 p.1～60）を読んでの感想》		

別紙でA3のワークシートを同封しています

テキスト1～3のワークシートは、研修開始前、各自のワークシートを
ダウンロードやふせん等でチェックしてください。またそこからいくつかを取り上げて、内容（ポイント）を整理し、
なぜ気になったかも含めて以下にまとめてください。

気になった部分（ページ数・上から○行目など）	書かれている内容となぜそれが気になったか

【事前準備シート】福祉支援語り部（中堅）			シート No. 1
ふりがな	職種	福祉業界での 経歴年数	
おなまえ	所属		
<input type="checkbox"/> 研修に参加した動機 <input type="checkbox"/> 自ら希望して <input type="checkbox"/> 推薦 または 指名されて <input type="checkbox"/> その他 ()			
<input type="checkbox"/> 研修に参加した理由		<input type="checkbox"/> 研修にあたっての不安	
<small>〈相模原障害者施設殺傷事件のことを聞いて、あなた自身が、その当時、感じたこと、考えたこと〉</small>		<small>〈相模原障害者施設殺傷事件のことを聞いて、あなたの職場や周囲で、おこった反応や感じた雰囲気〉</small>	
<small>〈先買一環関連資料（テキスト「ほほえむから」およびテキスト資料1・2 p.1～60）を読んだ感想〉</small>			
<small>テキスト資料3・4・5の相模原障害者施設殺傷事件に関連する資料（p.61-91）を読んで、あなたが気になった部分をアンダーラインやふせん等でチェックしてください。またそこからいくつかを取り上げて、内容（ポイント）を整理し、なぜ気になったかも含めて以下にまとめてください。</small>			
<small>気になった部分（ページ数・上から○行目など）</small>		<small>書かれている内容となぜそれが気になったか</small>	

【ワーク A】

一般プログラムについてふりかえる

所要時間 40分	<p>【作業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シート 2・3・4 をもとに、シート 5 の各項目に個人で整理する：10分 ・ グループで作成内容を共有する：20分 <p>持ち時間 1分 で報告×2回</p> <p>①「学び・気づき」→②「疑問・違和感」</p>
---------------------------	--

福祉支援語り部養成研修 一般プログラム

プログラム・内容	シート
基調講演① 「共生社会に求められるアダプテッド・スポーツの重要性」 加地 信幸 氏 広島文化学園大学 人間健康学部 スポーツ健康福祉学 学科長・教授 1971年広島県出身。県立広島特別支援学校教諭などを経て2017年より広島文化学園大学教授。県立広島女子大大学院修士課程修了。重度障害児者のスポーツや指導者養成が専門。2007年にHBG重度・重複障害児スポ・レク活動教室「はなまるキッズ」設立・代表。博報賞特別支援教育部門（2017）、文部科学大臣表彰（2021）、保健文化賞（厚生労働大臣賞ほか、2022）など受賞。著書に障害児体育の授業など多数。	2
基調講演②「いのちに意味がある ～私たちは何を大切にしてきたのか～」 奥田 知志 氏 植草学園大学副学長・教授／毎日新聞客員編集委員 1963年滋賀県生まれ。関西学院大学・大学院卒。東八幡キリスト教会牧師、NPO法人抱璞理事長、NPO法人ホームレス支援全国ネットワーク理事長、公益財団法人共生地域創造財団代表理事、一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事、一般社団法人全国居住支援法人協議会共同代表。NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演。著書多数。	3
【映像】NHKスペシャル「ラストメッセージ この子らを世の光に」 日本初の公的福祉施設「近江学園」設立に尽力した糸賀一雄と彼を支えた池田太郎や田村一二郎について紹介。障害のある子どもたちと寝食を共にし、生き生きと暮らす糸賀や職員たちの姿を記録した当時のフィルムに映るのは、まさに「福祉」の原点と言える。	4

03

ワークシートの使い方

◎自分の内面と向き合う

この研修は、技術習得や課題解決が目的ではありません。**自分の内面と向き合うことで、思いや考えを整理することが目的です。**

◎他人に伝えるための整理

限られた時間で考えや意見をきちんと伝えるためには、**内容を整理し、優先順位をつける**ことが重要です。特に1分の場合、テーマを2つ程度に絞ると効果的です。また、無理にまとめようとせず、わからないものはわからないものとして、整理することも大切です。

◎事前準備の重要性

テキストは自分の内面と向き合うための1つのきっかけです。また、グループの議論をより深いものにするために、テキストを読んで、事前準備シートの記入をお願いします。

05

研修中のルール

①限られた時間を有効に使うために

◎準備はしっかりしましょう

<基本的な流れ> 個人作業→グループ共有→議論

◎個人作業

ワークシートは、文章ですべてを埋める必要はありません。
自分がまとめやすいように、キーワードの列挙でもかまいません。

◎グループ共有／議論

この研修では議論の密度が、各自の成果や成長に直結するといっても過言ではありません。積極的な発言と主体的な参加が期待されるとともに、研修を早退・遅刻をすることは、自分だけでなく、他のメンバーの成長の機会を奪うものであることを認識してください。

10

研修中のルール

②正解のない問題に向き合うために

◎対等な立場で接しましょう 役職・年齢・関係を気にしない

◎建設的に対話を進めていきましょう

◎色眼鏡をかけず、物事を広い視野と心で見ましょう

◎積極的にディスカッションに参加する

発言の責任を意識しすぎない、突飛な意見でも恥ずかしがらずに。
思いつき歓迎、ただし、テーマから外れないように注意。
そして、遠慮なくパスする勇気を。

→今は「わからない」、「どちらともいえない」という選択肢

11

研修中のルール

③一緒に考えるメンバーに、尊重の念を表す

◎意見を述べている人に体・目線を向ける

◎自分と違う意見も、最後まで聞く

さえぎらない、批判・批評（でも、それってさ～）はNG！
だからといって「肯定」しなくてもよい

⇒「否定をしない」≠「賛同・認める」

◎あいづち、うなづきなどジェスチャーを入れる

「うんうん」「そうそう」などもGood！

「なるほど」「へ～」「いいですね～」など、賞賛の言葉を述べる

とにかく、話しやすい雰囲気をつくる

12

福祉支援語り部養成研修

section A

15:00-16:55

13

福祉支援語り部養成研修 セクション A

時刻	プログラム	内容	シート
15:00	【ワーク A】 40分 一般プログラムをふりかえる	・一般プログラムで考えたことを整理する ふりかえりシート 5 記入 10分 グループ内での共有 25分	2-5
15:40	休憩		
15:55	【ディスカッション】 40分 共生社会について考える	・共生社会についてディスカッション ・模造紙とポストイットで整理	6
16:35	【全体共有】 20分	・メンターから共有 ・アドバイザーからコメント	7
16:55	セクション B 〈前半〉 へ		

14

福祉支援語り部養成研修 セクション A

時刻	プログラム	内容	シート
15:00	【ワーク A】 40分 一般プログラムをふりかえる	◎自分の考えを整理する ◎限られた時間で 優先順位をつけて伝える	2-5
15:40	休憩		
15:55	【ディスカッション】 40分 共生社会について考える	◎メンバーの考えをふまえて、 議論と意見交換をおこなう	6
16:35	【全体共有】 20分	◎他グループの議論を共有	7
16:55	セクション B 〈前半〉 へ		

14

【メモ】 基調講演①での学びや気づき、気になった点をメモしましょう

研修開始までに、下記の内容を整理してください（研修で使います）。

〈印象に残ったこと〉

… 〈基調講演①から得た学び・気づき〉

07

【メモ】 基調講演②での学びや気づき、気になった点をメモしましょう

研修開始までに、下記の内容を整理してください（研修で使います）。

〈印象に残ったこと〉

… 〈基調講演②から得た学び・気づき〉

08

2つの項目について自分の考えをまとめる
10分程度

〈グループメンバーの考え・意見：自分とは異なる視点、新たな気づきや疑問、違和感〉

- ・このシートは、意見交換に向けて考えを整理するための準備です
- ・枠内をすべて埋める必要はなく、キーワードの列挙でもOK

15

〈一般プログラムから得た学び・気づき〉

持ち時間
1分

〈疑問・違和感〉

実は、今ひとつ納得できていないことが...
確かにそれが理想だけど、現在現実を考えると...
今さら、こんなことは聞きづらいのだけど...

持ち時間
1分

*メンバーに各項目を1分で共有する

- ◎各シートのメモをもとに、「伝えたい」「大事だ」と思う内容をそれぞれの枠に2つ程度に整理していきましょう
- (1) 事前学習から得た学び・気づき (共有：10分)
- (2) 事前学習での疑問や違和感 (共有：10分)
- ◎他のメンバーの共有から得られた気づきなどをメモしましょう
→メンターは出た意見を整理してください

15

【休憩】

15:55に再開します

- ・ 模造紙・ふせん・マーカー
テーブルに準備

【ディスカッション】

共生社会について考える

<p>所要時間 40分</p>	<p>【作業内容】</p> <ol style="list-style-type: none">①メンターによる疑問や違和感の整理②「共生社会と呼べる状況」「共生社会と呼べない状況」「どちらともいえない状況」をふせんに書き出す③意見交換
---------------------	--

【ディスカッション】グループ発表用まとめ

シート
No. 6

共生社会と呼べる状況	わからない どちらともいえない状況	共生社会と呼べない状況

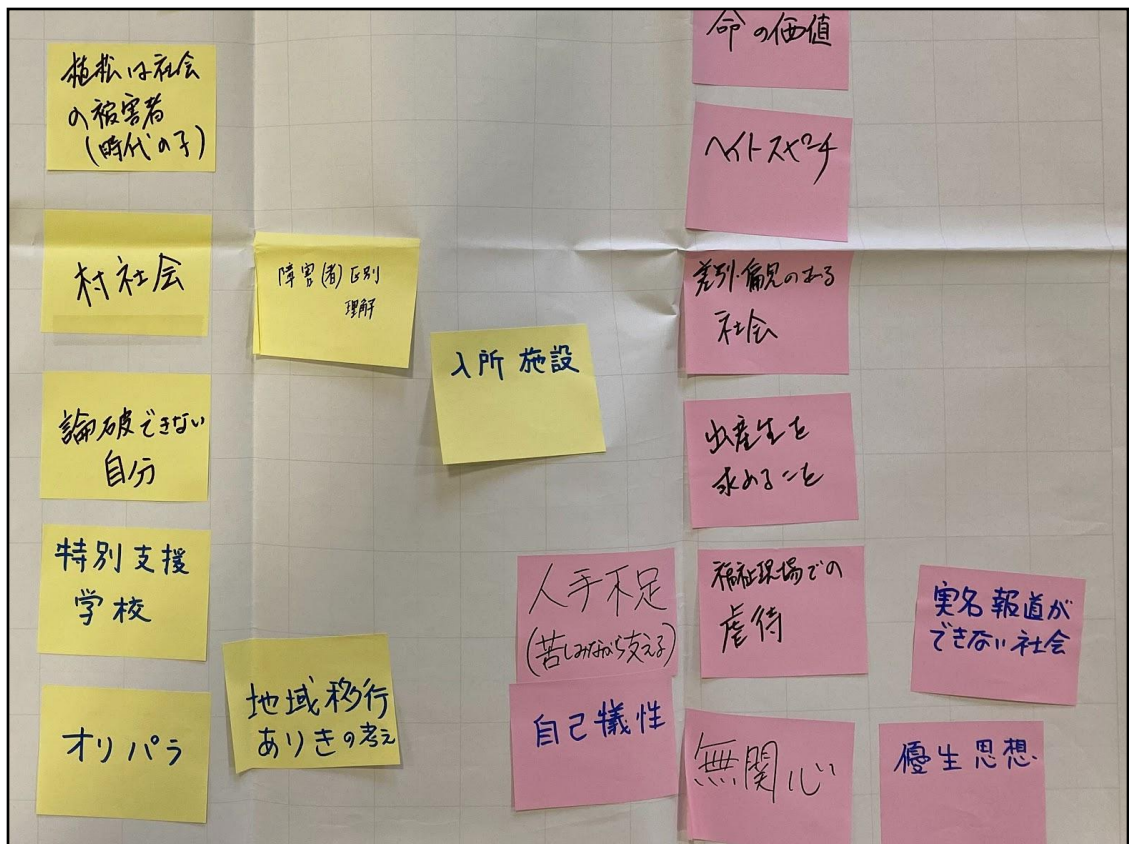
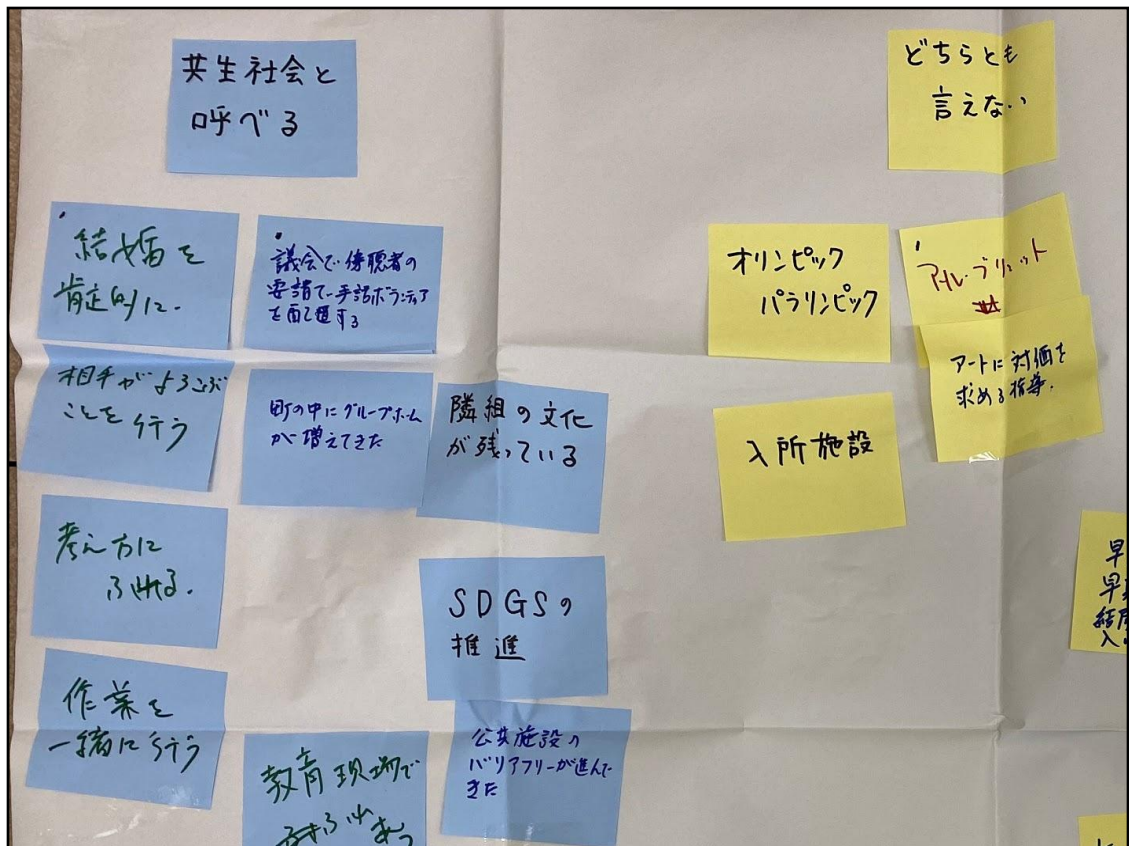
16

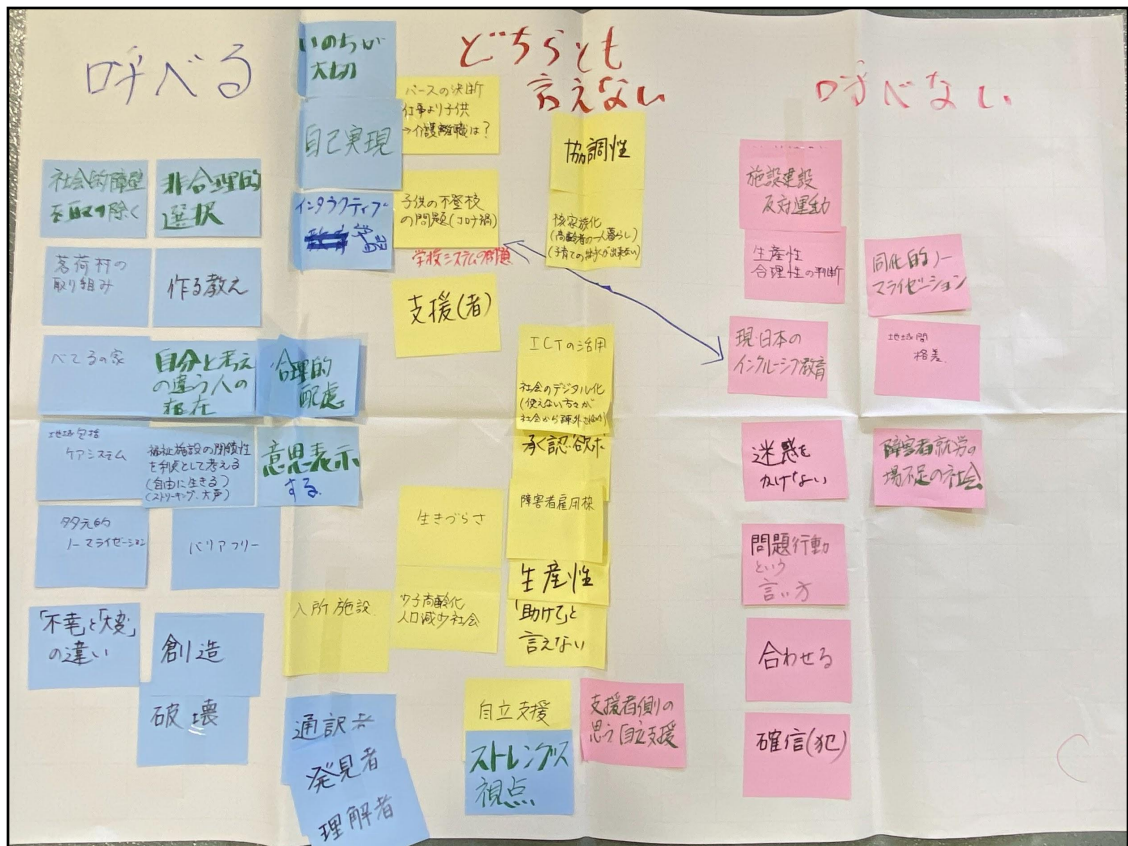
【ディスカッション】グループ発表用まとめ

シート
No. 6

共生社会と呼べる状況	わからない どちらともいえない状況	共生社会と呼べない状況
<p>◎疑問や違和感をもとに、それぞれにあてはまる状況や自分の考えをふせんに書いて貼りましょう</p> <p>◎「伝えたいこと」は1枚に1つ：キーワード+ひとこと</p> <p>◎マーカーを使って、大きく、簡潔に</p>		
障害の有無にかかわらず、表現活動にとりくめる	障害のない人が障害のある人を無理をして支える状況	障害のある人や家族が何の支援も受けられず苦しい状況

16





研修中のルール

②正解のない問題に向き合うために

- ◎対等な立場で接しましょう 役職・年齢・関係を気にしない
- ◎建設的に対話を進めていきましょう
- ◎色眼鏡をかけず、物事を広い視野と心で見ましょう
- ◎積極的にディスカッションに参加する

発言の責任を意識しすぎない、突飛な意見でも恥ずかしがらずに。
 思いつき歓迎、ただし、テーマから外れないように注意。
 そして、遠慮なくパスする勇気を。

→今は「わからない」、「どちらともいえない」という選択肢

【ディスカッション】グループ発表用まとめ

共生社会と呼べる状況	わからない どちらともいえない状況	共生社会と呼べない状況
<p>◎疑問や違和感をもとに、それぞれにあてはまる状況や自分の考えをふせんに書いて貼りましょう</p> <p>◎「伝えたいこと」は1枚に1つ：キーワード+ひとこと</p> <p>◎マーカーを使って、大きく、簡潔に</p>		
障害の有無にかかわらず、表現活動にとりくめる	障害のない人が障害のある人を無理をして支える状況	障害のある人や家族が何の支援も受けられず苦しい状況

16

【ディスカッション】

共生社会と呼べる状況	わからない どちらともいえない状況	共生社会と呼べない状況
障害の有無にかかわらず、表現活動にとりくめる	?	?
?	障害のない人が障害のある人を無理をして支える状況	?
?	?	障害のある人や家族が何の支援も受けられず苦しい状況

◎意見の移動／入れ替え／取り下げ、追加は自由です

◎流れのなかでまとめていきましょう

【全体共有】

<p>所要時間 20分</p>	<p>【作業内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・メンター報告（持ち時間3分）：12分・アドバイザーコメント
---------------------	---

【セクションA】ふりかえりシート

シート
No. 7

〈各グループの報告・意見交換メモ、報告・意見交換を通じて得られた学び・気づき〉

〈今日のふりかえりと明日にむけて：研修を受ける前との変化、研修で得られた学び・気づき、明日の注意点〉

【メモ】

18

【メモ】

19

福祉支援語り部養成研修

section B

1日目16:55- 2日目14:30

21

【オリエンテーション】

所要時間 5分	【作業内容】 ・セクションBについて
------------	-----------------------

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

S	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	共生社会の根幹にある、福祉の思想と普遍的な価値を理解する	【ワークA】研修プログラム①を考える 【ディスカッション】共生社会について考える 【全体共有】
B 16:55~ 翌14:30	相模原障害者施設殺傷事件に対するさまざまな意見から多様な考え方と“違い”を理解する 「問いかけ」を言語化し、共感のためのいくつかの「語りかけ」を言語化する	【ワークB-0】感情の整理 【オリエンテーション】 【ワークB-1】感情の源泉の整理 【ワークB-2】「問いかけ」による言語化 【グループ共有】 【オリエンテーション】 【ワークB-3】「語りかけ」による言語化 【ディスカッション】「問いかけ」「語りかけ」の検証 【全体共有】
C 14:40 ~16:00	自分の職場をイメージしつつ、語りの場を実践していくためのアクションプランを作成する	【オリエンテーション・事例紹介】 【ワークC-0】語る相手を想定する 【ワークC-1】語りの場のコンセプト整理 【ワークC-2】アクションプランの作成 【ワークC-3】アクションプランの共有と更新 【まとめ】総括と決意表明テスト

04

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

S	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	◎二元論の思考・発想ではなく どちらともいえないという第三軸 ◎答えはでないという考え方	
B 16:55~ 翌14:30	◎自分の内面（感情・思考）と向き合う ◎“もやもや”との対話 「わからない」「もやもや」の言語化 「問いかけ」と「語りかけ」による対話	
C 14:40 ~16:00	◎実際に、語りの場を考える	

04

【ワークB-0】

相模原事件当時をふりかえる

所要時間 10分	【作業内容】 ・ 相模原事件当時をふりかえる：10分
---------------------------	--------------------------------------

【ワークB-1】 自分の内面と向き合う			シート No. 8
相模原障害者施設殺傷事件を聞いた当時、あなたやメンバーはどう感じたのか？			
<small>テキスト資料「相模原障害者施設殺傷事件に関する市民の声」のなかで、自分の理解できない意見や価値観に対して、自分の内面と向き合うとともに、そのときに湧き起こる感情とその源泉（要因）を探って、整理しましょう。</small>			
どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）	
別紙でA3のワークシートを同封しています			
<small>メンバーによる共有をふまえて、自分の感情と源泉の整理を見直し、自分が「気づいていなかったこと」やバイアス（感じ方の癖）を確認しましょう。</small>			

【事前準備シート】福祉支援語り部（中堅） シート No. 1

ふりがな	職種	福祉現場での経験年数
おなまえ	所属	

（研修に参加した動機）
 自ら希望して 推薦 または 指名されて その他（ ）

（研修に参加した理由）

（研修にあたっての不安）

（相模原障害者施設殺傷事件のことを聞いて、あなた自身が、その当時、感じたこと、考えたこと）

（相模原障害者施設殺傷事件のことを聞いて、あなた自身が、その当時、感じたこと、考えたこと）

（所属）福岡県道産子（テキスト「ほほえむちから」およびテキスト資料1・2 p.1-60）を読んでの感想

【ワークB-1】自分の内面と向き合う シート No. 8

相模原障害者施設殺傷事件を聞いた当時、あなたやメンバーはどう感じたのか？

テキスト資料「相模原障害者施設殺傷事件に関する市民の声」のなかで、自分の理解できない意見や価値観に対して、自分の内面と向き合うとともに、そのときに湧き起こる感情とその源泉（要因）を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）
-----------	-----------------	-----------

①相模原事件についてふりかえる 持ち時間：1分

事前準備シートの「あなた自身が、その当時感じたこと、考えたこと」をもとに、メンバーに共有してください。自分の立ち位置を確認するための共有です。

◎議論ではなく、自分と向き合うための確認作業
 現在（今）と違って、変わっていた、としてもOK

◎むしろ、その「気づき」が重要です

【アドバイザーより】

多様な意見と向き合う

<p>所要時間</p> <p style="font-size: 1.5em;">10分</p>	<p>【作業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な意見に向き合う：10分
--	--

【チェックアウト】

今日のふりかえりと明日への準備

<p>所要時間 5分</p>	<p>【作業内容】 ・1日の作業（シート）をふりかえる</p>
--------------------	-------------------------------------

【セクションA】ふりかえりシート

シート
No. 7

〈各グループの報告・意見交換メモ、報告・意見交換を通じて得られた学び・気づき〉

〈今日のふりかえりと明日にむけて：研修を受ける前との変化、研修で得られた学び・気づき、明日の注意点〉

本研修の目的

全ての国民が、障害をはじめとする生きづらさの有無によって分け隔てられることなく、人の尊厳の輝きを認め合いながらともに生きる共生社会の実現が求められています。しかしながら、“生きる意味のない命がある”、“障害者は社会に不幸をもたらすだけ”という考えに同調する声もあるなかで、共生社会を実現させるためには、その基本理念について福祉分野をはじめ広く社会に普及させる必要があります。誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念等について学び、自らの実践につなげ、さらには所属や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修を組み込んだフォーラムを実施します。

01

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

§	到達目標	研修内容
A 14:30 ~16:55	◎二元論の思考・発想ではなく どちらともいえないという第三軸 ◎答えはでないという考え方	
B 16:55~ 翌14:30	◎自分の内面（感情・思考）と向き合う ◎“もやもや”との対話 「わからない」「もやもや」の言語化 「問いかけ」と「語りかけ」による対話	
C 14:40 ~16:00	◎実際に、語りの場を考える	

04

【ワークA】一般プログラムについてふりかえる

シート
No. 5

〈一般プログラムから得た学び・気づき〉

〈疑問・違和感〉

実は、今ひとつ納得できていないことが...
確かにそれが理想だけど、現在現実を考えると...
今さら、こんなことは聞きづらいのだけど...

持ち時間
1分

持ち時間
1分

***メンバーに各項目を1分で共有する**

◎各シートのメモをもとに、「伝えたい」「大事だ」と思う内容をそれぞれの枠に2つ程度に整理していきましょう

(1) 事前学習から得た学び・気づき (共有:10分)

(2) 事前学習での疑問や違和感 (共有:10分)

◎他のメンバーの共有から得られた気づきなどをメモしましょう

→メンターは出た意見を整理してください

15

【ディスカッション】

共生社会と呼べる状況

わからない
どちらともいえない状況

共生社会と呼べない状況

障害の有無にかかわらず、
表現活動にとりくめる

?

?

?

障害のない人が
障害のある人を
無理をして
支える状況

?

?

?

障害のある人や
家族が何の支援
も受けられず
苦しい状況

◎意見の移動/入れ替え/取り下げ、追加は自由です

◎流れのなかでまとめていきましょう

【事前準備シート】福祉支援語り部（中堅） シート No. 1

ふりがな	職種	福祉事業での経験年数
おなまえ	所属	
<small>（研修に参加した数値）</small> <input type="checkbox"/> 自ら希望して <input type="checkbox"/> 推薦 または 指名されて <input type="checkbox"/> その他（ ）		
<small>（研修に参加した理由）</small>		<small>（研修にあたっての不安）</small>
<small>（相模原障害者施設殺傷事件のことを聞いて、あなた自身が、その当時、感じたこと、考えたこと）</small>		<small>（相模原障害者施設殺傷事件のことを聞いて、あなた自身が、その当時、感じたこと、考えたこと）</small>

（所属—福岡道資料（テキスト「ほほえむちから」およびテキスト資料1・2 p.1-60）を読んでの感想）

【ワークB-1】自分の内面と向き合う シート No. 8

相模原障害者施設殺傷事件を聞いた当時、あなたやメンバーはどう感じたのか？

テキスト資料「相模原障害者施設殺傷事件に関する市民の声」のなかで、自分の理解できない意見や価値観に対して、自分の内面と向き合うとともに、そのときに湧き起こる感情とその源泉（要因）を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）
-----------	-----------------	-----------

①相模原事件についてふりかえる 持ち時間：1分

事前準備シートの「あなた自身が、その当時感じたこと、考えたこと」をもとに、メンバーに共有してください。自分の立ち位置を確認するための共有です。

◎議論ではなく、自分と向き合うための確認作業
 現在（今）と違って、変わっていた、としてもOK

◎むしろ、その「気づき」が重要です

【チェックアウト】

明日にむけた準備

- ・テキストには必ず目を通し、気になる意見をチェックするとともに、事前準備シート（シート1）を完成させておいてください

テキスト資料3・4・5の相模原障害者施設殺傷事件に関する資料（p.61-91）を読んで、あなたが気になった部分をアンダーラインやふせん等でチェックしてください。またそこからいくつかを取り上げて、内容（ポイント）を整理し、なぜ気になったかも含めて以下にまとめてください。

気になった部分(ページ数・上から〇行目など)

書かれている内容となぜそれが気になったか

【事務連絡】

ワークシートについて

ワークシートは、明日も全て持参してください。

明日、全プログラム終了後に
ワークシートを一旦お預かりします。

(1週間程度での返送を予定)

【事務連絡】

明日は 9:30 スタートです

時間に遅れないように
お集まりください

共生社会フォーラム in 広島

福祉支援語り部養成研修 〈2日目〉

アイスブレイク

かたちをことばに、ことばをかたちに

【進め方】

- ・メンターからメンバーにカードを1枚ずつ配る
このとき、他のメンバーに見えないよう注意！
- ・手元に配られたカードに描かれた図形を自分だけ見て
その特徴を他のメンバーに、口頭で説明する
- ・説明を聞いて、イメージされた図形を描く
- ・説明時間は30秒（描く時間もその30秒を含む）
- ・これを4人全員が行う
- ・全員が終わったら、答え合わせ

回答者は
他の人の作業は
見ないように。

出題者は
見てもOK！

【アイスブレイク】かたちをことばに、ことばをかたちに

出題者：

出題者：

出題者：

出題者：

チェックイン

コンディションチェック

- ・ **右手は体**の調子、**左手は心**の調子を表現してください。
手の高さであなたのコンディションを教えてください。
- ・ まっすぐあげた状態が100点、真下に下げた状態が0点

昨日のふりかえり 作業時間：10分

- ・ メンバーの調子をふまえて、グループで発表した模造紙、作成したシートをもとに、昨日をふりかえって、今日にのぞみましょう。

福祉支援語り部養成研修

section B

1日目 16:55- 2日目 14:30

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

S	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	共生社会の根幹にある、福祉の思想と普遍的な価値を理解する	【ワークA】研修プログラム①を考える 【ディスカッション】共生社会について考える 【全体共有】
B 昨 16:55~ 14:30	相模原障害者施設殺傷事件に対するさまざまな意見から多様な考え方と“違い”を理解する 「問いかけ」を言語化し、共感のためのいくつかの「語りかけ」を言語化する	【ワークB-0】感情の整理 【オリエンテーション】 【ワークB-1】感情の源泉の整理 【ワークB-2】「問いかけ」による言語化 【グループ共有】 【オリエンテーション】 【ワークB-3】「語りかけ」による言語化 【ディスカッション】「問いかけ」「語りかけ」の検証 【全体共有】
C 14:40 ~16:00	自分の職場をイメージしつつ、語りの場を実践していくためのアクションプランを作成する	【オリエンテーション・事例紹介】 【ワークC-0】語る相手を想定する 【ワークC-1】語りの場のコンセプト整理 【ワークC-2】アクションプランの作成 【ワークC-3】アクションプランの共有と更新 【まとめ】総括と決意表明テスト

04

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

S	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	◎二元論の思考・発想ではなく どちらともいえないという第三軸 ◎答えはでないという考え方	
B 昨 16:55~ 14:30	◎自分の内面（感情・思考）と向き合う ◎“もやもや”との対話 「わからない」「もやもや」の言語化 「問いかけ」と「語りかけ」による対話	
C 14:40 ~16:00	◎実際に、語りの場を考える	

04

福祉支援語り部養成研修 セクションB 〈前半〉

時刻	プログラム	内容	シート
16:55	【ワークB-0】35分 多様な意見と向き合う	◎さまざまな意見に対する 自分の感情を整理する	8
17:30	1日目終了		
9:30	チェックイン 10分	・アイスブレイク②	
9:40	【オリエンテーション】15分	・昨日のふりかえり ・セクションBの内容とわらい	
9:55	【ワークB-1】30分 感情と源泉の整理	◎感情の源泉を掘り下げ、 自分の内面と向き合う	8
10:25	【ワークB-2】20分 「語りかけ」の方法①	・「問いかけ」のイメージを共有する ・背景説明 3分 語りかけ 5分 共有10分	9-1
10:45	休憩		
10:55	【ワークB-2】20分 「語りかけ」の方法②	・「問いかけ」のイメージを共有する	9-2
11:15	【ワークB-2】20分 「語りかけ」の方法③	◎答えに窮する問いかけに 「語りかけ」を試みる	9-3

22

福祉支援語り部養成研修 セクションB 〈後半〉

時刻	プログラム	内容	シート
11:35	【ワークB-3】35分 「問いかけ」を考える	◎「語りかけ」と「問いかけ」 のイメージ共有	10-1
12:10	昼休憩 50分		
13:00	【ワークB-4】30分 「語りかけ」による言語化	・「問いかけ」に対する「語りかけ」 メンバーの問いかけへの語りかけ 5分×人数 戻ってきた自分のシートへの記入 5分	10-2
13:30	「語りかけ」の確認 15分	◎メンバーの言葉を頼りに 語りを言語化していく	10-2
13:45	【共有】15分		
14:00	【ディスカッション】30分 「問いかけ」「語りかけ」の検証	・言語化された「問いかけ」「語りかけ」の ふりかえり ・ワークBについて自由に意見交換 (30分)	10-1 10-2
14:30	休憩 10分		

23

【ワーク B - 1】

感情の源泉の整理

<p>所要時間 30分</p>	<p>【作業内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 感じたこと、その感情が湧き起こった源泉を言語化する：10分・ 感情と源泉の客観的整理をふまえて、もう一度、感情と源泉と向き合う：10分・ 上記をふまえて、個人で見つめ直す：5分
---------------------	--

研修中のルール

②正解のない問題に向き合うために

◎対等な立場で接しましょう 役職・年齢・関係を気にしない

◎建設的に対話を進めていきましょう

◎色眼鏡をかけず、物事を広い視野と心で見ましょう

◎積極的にディスカッションに参加する

発言の責任を意識しすぎない、突飛な意見でも恥ずかしがらずに。

思いつき歓迎、ただし、テーマから外れないように注意。

そして、遠慮なくパスする勇気を。

→今は「わからない」、「どちらともいえない」という選択肢

研修中のルール

③一緒に考えるメンバーに、尊重の念を表す

◎意見を述べている人に体・目線を向ける

◎自分と違う意見も、最後まで聞く

さえぎらない、批判・批評（でも、それってさ～）はNG！
だからといって「肯定」しなくてもよい

⇒「否定をしない」≠「賛同・認める」

◎あいづち、うなづきなどジェスチャーを入れる

「うんうん」「そうそう」などもGood！

「なるほど」「へ～」「いいですね～」など、賞賛の言葉を述べる

とにかく、話しやすい雰囲気をつくる

12

【ワークB-1】自分の内面と向き合う

シート
No. 8

相模原障害者施設殺傷事件を聞いた当時、あなたやメンバーはどう感じたのか？

テキスト資料「相模原障害者施設殺傷事件に関する市民の声」のなかで、自分の理解できない意見や価値観に対して、自分の内面と向き合うとともに、そのときに湧き起こる感情とその源泉（要因）を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）

別紙でA3のワークシートを同封しています

メンバーによる共有をふまえて、自分の感情と源泉の整理を見直し、自分が「気づいていなかったこと」やバイアス（感じ方の癖）を確認しましょう。

24

泉 (要因) を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	怒？ 以外は源泉	感情の源泉 (要因)
障害者は いるべきではない	何言ってるの？ (怒り) なの？ 重い気持ち 理解できない... 理解したい	毎日通っている利用者様 達の顔を見たい
貴方達の役目も 同じです	トキッ クラッ 遅い、遅くない (どまじい)	自分の子どもは 障害者になって良くて 思っている
親にも迷惑している	ドロドロ (あかぬ)	おじいちゃんを養って やる、おかしな 「この子で死ぬのさ」という言葉
職員、生活の質性のうしろ なつたて	不安から!!	直前で自分の 弱みを出している、 この気持ちがある
専門性がないことも支障を 与えている	半分納得 半分否定 (どまじい感)	職場にいる、正義しくい パートの顔を見たい

P67. 高田女への異論
知的障害者、辛い(健康者)
救済すべき
何の役にも立っていない障害者の権利
権利は押し出され、自分で育てず、
税金を働いている... 社会の負担

P66
24H TV, (OS) シンクロ
和歌健康者、E 不登校者、
それ(2)より傷つく人もいる

この人も辛い思いをしている人(どうして) (悲しみ)
どうして人はこの考えを持つ人
いるのか (モヤモヤ)
それは... 親の親も... (因果)
たしかにそうだ
多量な話をやけていた人はどうすれば
(疑問) モヤモヤ

自分のことはよく考えているけれどTさん?
世の中のせいにしていませんか?
一面しか見ていないのでは?
本心と建前どっちが本当の気持ちですか?
どう、決まらぬかな?
受容大切 自分とかがおかしな
うけとれたい

(感情) と (源泉) が混在
→ まだまだ他人事 = 浅い

【原因】 源泉が
分析、詮索に...

本人である本意を容疑者の考えは、
本当に間違っているの？

驚き、不快 → 受容

始めは 自分と想定外の異議、目的
の、残念がらぬTさん、次第に
彼も作り物に習熟に意識が
向いていった、他人事での視感

背景の意識に傾く = 「受容」ではない → 興味関心の程度
→ (源泉) どの背景に、なぜ興味関心が出たのか?
→ (感情) それに自分はどう感じたのか?...これを繰り返す
or 本当に植松死刑囚の考えを「受容」しているのであれば、
→ (源泉) に受け入れた部分、そうでない部分がある...

テキスト資料「相模原障害者施設殺傷事件に関する市民の声」のなかで、自分の理解できない意見や価値観に対して、自分の内面と向き合うとともに、そのときに湧き起こる感情とその源泉（要因）を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）

③感情と源泉の客観的整理

自分のシートを発表（各自2分）

メンバーによる共有をふまえて、自分の感情と源泉の整理を見直し、自分が「気づいていなかったこと」やバイアス（感じ方の癖）を確認しましょう。

メンバーの感情と源泉を通じた
自分の気づき、キーワードをメモ

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）
障害者の方、 伝えないのが 残念と書いている。	「正統な現況を認め、 共感、悲しみ」	障害者はわからないと聞いている人が 多いから、全く知らないことばかり だから。

④感情と源泉を見直す 作業時間：5分

他のメンバーの整理や考え方を
聞いたうえで、自分の整理方法を
改めて見直す

- ◎無意識の「思い込み」はないか？
- ◎自分や自分の職場を
例外扱いしていないか？
- ◎自己中心的な考えはないか？

メンバーによる共有をふまえて、自分の感情と源泉の整理を見直し、自分が「気づいていなかったこと」やバイアス（感じ方の癖）を確認しましょう。

容疑者の服装の変化はあつたが、どうも他人事か。〈何かはなしてはいいじゃない、何となくさ〉
という集体的 弊にはなっていない。

【ワーク B - 2】

「語りかけ」の方法

<p>所要時間</p> <p>20分</p> <p>× 3</p>	<p>【作業内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「語りかけ」のシーンをイメージし、実際に取り組んでみる <p>シート 9-1～9-3記入 各5分</p>
--	--

本研修の目的

全ての国民が、障害をはじめとする生きづらさの有無によって分け隔てられることなく、人の尊厳の輝きを認め合いながらともに生きる共生社会の実現が求められています。しかしながら、“生きる意味のない命がある”、“障害者は社会に不幸をもたらすだけ”という考えに同調する声もあるなかで、共生社会を実現させるためには、その基本理念について福祉分野をはじめ広く社会に普及させる必要があります。**誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念等**について学び、自らの実践につなげ、さらには**所属や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修**を組み込んだフォーラムを実施します。

語りかけ練習シート その①

シート
No. 9-1

以下の「問いかけ」に対して「語りかけ」を練習しましょう。

問 い か け	<p>【誰から】後輩の福祉 どうしても反りの合 とは許されないが自分 でしょうか。</p>	<p>問いかけられた状況をイメージして、まずはなぜ答えに窮したか考えます。その後、どのように語りかけるか考えてみましょう。時間は5分です。</p>
【なぜ答えに窮したと思いますか】		
	【どのように語りかけるか】	
	<p><ルール></p> <p>*自分が問いかけられたつもりで主観的に「語りかけ」してみる</p> <p>*文章にならない場合は、キーワード+ヒトコトでもOK</p>	

25

語りかけ練習シート その①

シート
No. 9-1

以下の「問いかけ」に対して「語りかけ」を練習しましょう。

問 い か け	<h3 style="color: #E67E22;">語りかけのポイント</h3>	
【なぜ	① 相手の意見やつらい状況を 受け止めることができているか	
【どの	② 相手が気づいていない事柄を説明できているか あたかも事実のように押し付けず、自らの考えとして話す。	
【メモ	③ 1人で抱え込まず周りを頼ったり支え合ったり することへの理解を促すことはできているか	
	④ 「死ぬ」ことは後悔しても取り返しのつかない ことであると説明できているか	
	⑤ 結論づけず対話につなげる工夫をできているか	

25

語りかけ練習シート その①

シート
No. 9-1

以下の「問いかけ」に対して「語りかけ」を練習しましょう。

問
い
か
け

【誰から】後輩の福祉施設職員 【どんな状況で】相模原の事件の後で
どうしても反りの合わない子（7才）がいてイライラしてしまう。植松のやった
ことは許されないが自分もたまたま手が出そうになる時もある。私は施設を辞めるべき
でしょうか。

【なぜ答えに窮したと思いますか】

【どのように語りかけるか】

【メモ】

25

【小休憩】

10:55に再開します

語りかけ練習シート その②

シート
No. 9-2

以下の「問いかけ」に対して「語りかけ」を練習しましょう。

問
い
か
け

【誰から】 小学校低学年の自分の子ども
【どんな状況で】 自分の働く施設に子どもを連れて行き、重度の障害がある利用者（ベッドで寝ていて話したりすることはできない）とその保護者にすれ違った時にこの子、死んでいるの？

【なぜ答えに窮したと思いますか】

【どのように語りかけるか】

【メモ】

26

語りかけ練習シート その③

シート
No. 9-3

以下の「問いかけ」に対して「語りかけ」を練習しましょう。

問
い
か
け

【誰から】 自殺念慮のある思春期女性（1人親貧困家庭育ち、薬物療法効果なし）
PTSD、性虐待、人格障害、ミュンヒハウゼン、解離性障害、躁鬱...
【どんな状況で】 精神状態が落ち着いている時
自分の命だし、自分で死ぬと決めているのに、周りの人から死んだらダメだと言われる。どうして死んだらダメなんですか？

【なぜ答えに窮したと思いますか】

【どのように語りかけるか】

【メモ】

27

【ワーク B - 3】

「問いかけ」を考え、「語りかける」

<p>所要時間 10分</p>	<p>【作業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な価値観との対話のきっかけとなる「問いかけ」を考える <p>シート10-1記入 10分</p>
----------------------------	---

◎各自の「問いかけ」に、メンバー全員で「語りかけ」をする

①自分の問いかけを決める

＊問いかけの内容と、誰から、どんな状況で問われたのかを書く。

【ワークE】「語りかけ」をみんなで考える シート No.11

「相模原障害者施設殺傷事件」や「共生社会のありかた」について、自分が職場や職場の関係者から尋ねられたら答えるに悩んでしまうような「問いかけ」をまずは書きます。

誰からの	どんな問いかけ
職員 さんから	「語りかけ」ってどんな事ですか？ 具体的に教えてください」
	あなたのなまえく

②右隣の人にシートを渡す

＊自分は左隣の人から受け取って、「語りかけ」を書く（5分）

メンバーからの反応・語りかけ	なまえ
<p>お話を聴き、素直に質問を投げかけ、話を聴いて、一緒に考えたいです。自分から問いかけると相手は少しは戸惑うかもしれないので、問いかけは相手の状況に合わせて行う予定です。</p>	
<p>その日は急な予定で大変忙しく、親身になってその方と同じ時間を共有できませんでした。今後「記録対話録」の取り組みが実現すれば、時には急な予定を調整して参加したいと思います。</p>	
<p>質問は自分からする予定と想定していますが、相手の状況に合わせて問いかけたいです。自分から問いかけると相手は少しは戸惑うかもしれないので、問いかけは相手の状況に合わせて行う予定です。</p>	

②を繰り返す（5分×人数）

＊自分のシートがもどってきたら、メンバー全員の「語りかけ」を見て、思いや考えを整理する（5分）

自らの問いかけ、メンバーからの反応・語りかけに対する思いや意見の整理

＊ 全員に問いかけたいなと思う人が多かった。この問いかけのやりかたについて、心強く感じた。一時的な話し合い、生命の尊重が大切だ。相手の気持ちを、受け止めて、思いや考えを整理する。この問いかけが、メンバー全員に伝わるように、自分も問いかけたい。

利用者さんから		私は就職できますか？
利用者のお母様	将来、自分が死んだら、この子(利用者)は一人で生活できる社会が実現するか。	
先輩職員	君は利用者にならなから利用料を許せるか？	
部下	この子(利用者)が、この社会で生きていけるか？ (積極的に活躍する)	
自分の親	仕事が出来ない、病んでしまっ、気がくらくらしてかかしくなるよ。極楽の極になるよ。	
同僚から	どうにその仕事をしてるの	
うつる自分	自分には障害があるけど本当に良かったと思ってるよね？	

【問いかけを整える】

なぜなぜ検討とシート記入

<p>所要時間</p> <p>12:10</p> <p>まで</p>	<p>【作業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンターが「問いかけ」をメンバーそれぞれに1つずつ選びます。 ・選ばれたものについて相手や状況などを補足し、整理していきます。
--	---

【ワークB-2】「問いかけ」を考えるシート

シート
No. 9

「相模原障害者施設殺傷事件」を含む「共生社会のありかた」について、職場の職員、利用者やその家族など、自分の周囲を想定して、理解できない、自分とは反する価値観を含む、あるいは、自己矛盾や葛藤により、答えに窮するような「問いかけ」

*他の人の問いかけもメモして、参考にしましょう。

誰からの	どんな「問いかけ」なのか？
利用者さん	子ども産めはいいのは価値がないの？
地域住民	精神障害者は危険(あぶない)はことごとく人たす たしむべきではないの？
利用者さん	死にたいのと思ってることありまうか？(私に気も分かってまうか？)

<なぜなぜ検討>

- ・なぜ、自分が窮しているのか？×3回
- ・なぜ、相手が問いかけたのか？×3回

→状況や問いかけの趣旨、内容をブラッシュアップ

【ワークB-3】「問いかけ」を考える

シート
No. 10-1

「相模原障害者施設殺傷事件」を含む「共生社会のありかた」について、職場の職員、利用者やその家族など、自分の周囲を想定して、理解できない、自分とは反する価値観を含む、あるいは、自己矛盾や葛藤により、答えに窮するような「問いかけ」を考えましょう。

誰からの	どんな「問いかけ」
利用者から	私は就職できますか？
↑もう少し情報(相手との関係性)がほしい	
↓箇条書きで整理: 1枠に1項目を目安	

なぜ相手は問いかけたのか	なぜあなたは答えに窮したのか
何回か面接を受けたがなかなかうまくいかない →本人の特性と希望就職先の適性がマッチしていない	希望の就職は難しいと感じているがどう伝えてよいかわからない →可能性を否定はしたくないが、希望を持たせてこれ以上傷つくのが本人のためなのかわからない
→相手方の問題か？ →条件、テーマはあって いるか？ など、整えていく	
あなたのなまえ ()	

【ワークB-4】「語りかけ」の実践		シート No. 10-2
<p>「共生社会のありかた」について、尋ねられると答えに窮してしまう「問いかけ」に対して、グループのみんなで「語りかけ」を考えていきます。</p>		
【誰からの】	【問いかけられた状況やきっかけ、なぜ答えに窮してしまったか】	
【どんな問いかけ】		
あなたのなまえ ()		
【メンバーからの反応・語りかけ】		なまえ
別紙でA3のワークシートを同封しています		
【自らの問いかけ、メンバーからの反応・語りかけに対する思いや意見の整理】		

29

【ワークB-3】「問いかけ」を考える		シート No. 10-1
<p>「相模原障害者施設殺傷事件」を含む「共生社会のありかた」について、職場の職員、利用者やその家族など、自分の周囲を想定して、理解できない、自分とは反する価値観を含む、あるいは、自己矛盾や葛藤により、答えに窮するような「問いかけ」を考えましょう。</p>		
誰からの	どんな「問いかけ」	
別紙でA3のワークシートを同封しています		
シート10-2の上部に書き入れる際のメモとして活用してください。		
【誰からの】	【どんな問いかけ】	
【問いかけられた状況やきっかけ、なぜ答えに窮してしまったか】		
あなたのなまえ ()		

28

【ワークB-3】「語りかけ」をみんなで考える

シート
No. 10

「共生社会のありかた」について、尋ねられると答えに窮してしまう「問いかけ」に対して、グループのみんなで「語りかけ」を考えていきます。

【誰からの】 施設職員 20代	【問いかけられた状況や、きっかけなど】 相模原事件の後
【どんな問いかけ】 (7才) どうしても折の合合わない子がいてイライラしてしまう。植松のやったことは許されないが、自分もたまに殺したくなる時もある。私は施設を辞めるべきでしょうか。	
あなたのなまえ ()	

【メンバーからの反応・語りかけ】	なまえ

【昼休憩】

13:00に再開します

- ・ 本日の全プログラム終了後にワークシートを一旦お預かりします。(1週間程度での返送を予定)

【メンバーからの反応・語りかけ】	なまえ
<p>分からない人達ではありません。たいていの意見を伝えるのが難しい人達ではないかと それは私の職員が感じているので伝えるようにしています。 言葉が話せばいい。自分を守るために、他の人に手を出してはダメです。 その辺のいいために私たちが支援していきますので安心して下さい。</p>	<p>〇〇</p>
<p>① 右端に自分の名前を記入</p> <p>② ×相手の考え方や価値観を否定 ×相手を変える説得</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>○どのような考え方をすれば相手を理解できるのか</p> <p>○自分の常識や考え方を疑ってみたほうがよいこと</p> <p>*自分が問いかけられたつもりで主観的に「語りかけ」してみる</p> <p>*文章にならない場合は、キーワード+ヒトコトでもOK</p> <p>③ 5分経ったら（合図あり）、右隣の人に渡しましょう。</p>	

<p>【誰からの】</p> <p>同席</p>	<p>【問いかけられた状況や、きっかけなど】</p> <p>... その人の話し方から仕事を聞かされた。聞き手が聞き手</p>
<p>【どんな問いかけ】</p> <p>どうしてその仕事をしているの。 (大変の前) (いいこと(2人(2人)) (優しい(2人))</p> <p style="text-align: right;">あなたのなまえ ()</p>	
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;"> 戻ってきたシートをみて 自分の思いや考えを 整理しましょう。 持ち時間は5分です。 </p> <p style="text-align: center;">↓</p>	
<p>【自らの問いかけ、メンバーからの反応・語りかけに対する思いや意見の整理】</p> <p>自分の自信の不足に気がついた。 好きだから。人々から仕事が受ける仕事。成長できる。且つ合点が来る。学び。 自分の思いに込めるが。人に言われていざ自分</p>	

【共有】

他グループの「問いかけ」「語りかけ」

所要時間 14:00 まで	【作業内容】 <ul style="list-style-type: none">・ポスターセッション形式（他のグループのシート10を見てまわる）で閲覧しながらシート11の下半分を記入：15分
--	---

【セクションB】 メモ&ふりかえりシート

シート
No. **11**

〈ディスカッションを通じて得られた学び・気づき、問いかけ・語りかけで大事なこと〉

他グループの「問いかけ」と「語りかけ」から得られた学びと気づき

いいね！と感じた「問いかけ」

いいね！と感じた「語りかけ」

30

【セクションB】メモ&ふりかえりシート

シート
No. 11

〈ディスカッションを通じて得られた学び・気づき、問いかけ・語りかけで大事なこと〉

他グループの「問いかけ」と「語りかけ」から得られた学びと気づき

いいね！と感じた「問いかけ」

いいね！と感じた「語りかけ」

【ディスカッション】

「問いかけ」「語りかけ」の検証

14:30
まで

【作業内容】
・言語化された内容の共有（シート10回覧）
→よいコメントにマーク＋言い足りなかった
ポイントを加筆

【セクションB】メモ&ふりかえりシート

シート
No. 11

〈ディスカッションを通じて得られた学び・気づき、問いかけ・語りかけで大事なこと〉

他グループの「問いかけ」と「語りかけ」から得られた学びと気づき

いいね！と感じた「問いかけ」

いいね！と感じた「語りかけ」

30

【小休憩】

14:40に再開します

【メモ】

31

【メモ】

32

福祉支援語り部養成研修

section C

14:40-16:00

33

【オリエンテーション】

作業の内容確認

<p>所要時間 10分</p>	<p>【作業内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・ セクションCの作業の流れについて説明・ 事例紹介
---------------------	---

本研修の目的

全ての国民が、障害をはじめとする生きづらさの有無によって分け隔てられることなく、人の尊厳の輝きを認め合いながらともに生きる共生社会の実現が求められています。しかしながら、“生きる意味のない命がある”、“障害者は社会に不幸をもたらすだけ”という考えに同調する声もあるなかで、共生社会を実現させるためには、その基本理念について福祉分野をはじめ広く社会に普及させる必要があります。**誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念等**について学び、自らの実践につなげ、さらには**所属や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修**を組み込んだフォーラムを実施します。

01

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

§	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	共生社会の根幹にある、福祉の思想と普遍的な価値を理解する	【ワークA】研修プログラム①を考える 【ディスカッション】共生社会について考える 【全体共有】
B 昨 16:55~ 14:30	相模原障害者施設殺傷事件に対するさまざまな意見から多様な考え方と“違い”を理解する 「問いかけ」を言語化し、共感のためのいくつかの「語りかけ」を言語化する	【ワークB-0】感情の整理 【オリエンテーション】 【ワークB-1】感情の源泉の整理 【ワークB-2】「問いかけ」による言語化 【グループ共有】 【オリエンテーション】 【ワークB-3】「語りかけ」による言語化 【ディスカッション】「問いかけ」「語りかけ」の検証 【全体共有】
C 14:40 ~16:00	自分の職場をイメージしつつ、語りの場を実践していくためのアクションプランを作成する	【オリエンテーション・事例紹介】 【ワークC-0】語る相手を想定する 【ワークC-1】語りの場のコンセプト整理 【ワークC-2】アクションプランの作成 【ワークC-3】アクションプランの共有と更新 【まとめ】総括と決意表明テスト

04

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

S	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	◎二元論の思考・発想ではなく どちらともいえないという第三軸 ◎答えはでないという考え方	
B 昨 16:55~ 14:30	◎自分の内面（感情・思考）と向き合う ◎“もやもや”との対話 「わからない」「もやもや」の言語化 「問いかけ」と「語りかけ」による対話	
C 14:40 ~16:00	◎実際に、語りの場を考える	

04

福祉支援語り部養成研修 セクションC

時刻	プログラム	内容	シート
14:40	【オリエンテーション】 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・作業内容の確認 ・アクションプランの事例紹介 	
14:50	【ワークC-0】 5分 語る相手を想定する	<ul style="list-style-type: none"> ・語る相手を具体的にイメージする 	13-1
14:55	【ワークC-1】 20分 語りの場のコンセプト整理	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト整理 20分 	12
15:15	【ワークC-2】 20分 アクションプランの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプラン作成 15分 	13-1 13-2
15:35	【まとめ】 20分 総括と決意表明	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループでまとめと各自の決意表明 	14
15:55	閉会あいさつ・事務連絡		
16:00	全プログラム終了		

34

【ワークC-2】アクションプラン：語りの対象

シート
No. 13-1

<p>〈対象者：語りを伝えたい相手〉</p>	<p>〈対象の特徴〉 ex.興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を鵜呑みにするetc...</p>
<p>〈対象者の現在の状態（課題）〉</p>	<p>〈対象者の目指すべき方向（語りに期待する効果）〉</p>
<p>〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉</p>	<p>〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉</p>

37

【ワークC-2】アクションプラン：シチュエーション

シート
No. 13-2

<p>〈語りのシチュエーションの呼び名〉</p>	<p>〈実施する頻度・期間・人数・場所〉</p>
<p>〈具体的な方法（プログラム・内容）〉 可能であれば、タイムテーブルを組んでみよう！</p>	<p>〈語りの際に留意すべきポイント〉 上の〈対象の特徴〉もふまえて</p>

38

【事例紹介】

アクションプランの紹介

<p>所要時間</p> <p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまで研修で実際に作成されたアクションプランを紹介
-------------------------------------	--

地域向けプラン

【ワークC-2】アクションプラン：語りの対象

シート
No. 13

<p>〈対象者：語りを伝えたい相手〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校現場 (保育) 教職員や児童生徒 ② 施設職員...?? 	<p>〈対象の特徴〉</p> <p>ex. 興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を鵜呑みにするetc...</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校毎の考え、法則がある。 (保育所)
<p>〈対象者の現在の状態（課題）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援のほぎまにいてる子どもたちを排除する方向にある。(全ては正) 保護者と子どもの中で板ばさみにたり、苦しんでいる。 	<p>〈対象者の目指すべき方向（語りに期待する効果）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの声に耳を傾ける。 努力せずに子どもを排除しない。 暴発するまで抱え込まない。
<p>〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 同僚 (指導員や心理司、保育士 etc...) 上司 	<p>〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村のSSW (スクール-ソーシャル-ワーカー) 学校、保育所の教員 (SC etc...)

【ワークC-2】アクションプラン：シチュエーション

<p>〈語りのシチュエーションの呼び名〉</p> <p>「みんなの共生社会」</p>	<p>〈実施する頻度・期間・人数・場所〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に1度又は半年に1度。 ・夏休み中又は春休み中。 ・20名程度を対象に。 ・中学校区で。(中学校の地域連携室を用いる)
<p>〈具体的な方法(プログラム・内容)〉 可能であれば、タイムテーブルを組んでみよう!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に1度であれば3~4時間 例) 土曜日の午後 13:00~17:00まで "「共生社会」上映" ・13:00~14:00 「福祉思想」「理念」上映 ・14:15~16:00 ワークショップ ・16:15~17:00 全体で共有、フリートーク ・半年に1度であれば 放課後1~2時間 例) 金曜日の放課後 16:30~18:00まで "「共生社会」上映" ・16:30~17:00 ①「共生社会」②「福祉思想」 ・17:10~18:00 ①ワークショップ・全体共有 ②半年後の状況確認? 	<p>〈語りの際に留意すべきポイント〉 上の〈対象の特徴〉もふまえて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立や批判が起らないように。 ・お互いの現場のシステムを理解し合う。 ・続ける。

施設内向けプラン

【ワークC-2】アクションプラン：語りの対象

<p>〈対象者：語りを伝えたい相手〉</p> <p>日中系の職員・パートさん</p> <p>当事者と関わる対話。</p>	<p>〈対象の特徴〉</p> <p>ex. 興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を鵜呑みにするetc...</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人教のなかで自分の意見を言えない。 ・人に同言同語しがち。 - わかさ好き。 ・会議がおわってから少数教で片手会議とほめる。
<p>〈対象者の現在の状態(課題)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して意見を言える場がない。 	<p>〈対象者の目指すべき方向(語りに期待する効果)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の感情や行動を見つめ直す。気持ちを出し出す。 ・感情の要因をさぐってみる。 ・自分とはちがう意見をさぐ。 ・視野を広げ施設の外へ目を向ける。
<p>〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点長 ・同僚 	<p>〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・哲学対話をやっている人(Yさん)

【ワークC-2】アクションプラン：シチュエーション

シート
No. 14

(アクションをおこなうためのプラン)

<p>〈語りのシチュエーションの呼び名〉</p> <div style="border: 2px solid green; padding: 10px; margin: 10px;"> <p>モヤモヤ 飼育係</p> <p>モヤモヤカフェ</p> </div> <p style="margin-left: 200px;">喫茶 カフェ お茶会 茶話会</p>	<p>〈実施する頻度・期間・人数・場所〉</p> <p>2ヶ月に1回 2時間 施設内</p> <p style="text-align: right;">1回 1ヶ月も通ったプログラム</p>
<p>〈具体的な方法（プログラム・内容）〉 可能であれば、タイムテーブルを組んでみよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> - アイスブレイク - 話題提供 - 対話 - 1人ひとりに感想をさぐ - 言いたければからたことを紙に書いて提出 <p style="margin-left: 150px;">当事者がよろく 料理 楽しんでお茶会</p>	<p>〈語りの際に留意すべきポイント〉 上の〈対象の特徴〉もふまえて</p> <ul style="list-style-type: none"> - 聴いているだけでもOK - モノポリーを持っている人が発言できる → 発言したい人にまわす - 会の終わりに感想を書いてもらう <p style="margin-left: 20px;">「おかげさまで」=これも言っておく</p>

35

同業者向けプラン

【ワークC-2】アクションプラン：語りの対象

シート
No. 13

<p>〈対象者：語り伝えたい相手〉</p> <div style="border: 2px solid green; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>作業療法士会</p> </div> <p>職場</p>	<p>〈対象の特徴〉 ex. 興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を鵜呑みにするetc...</p> <p>共生社会という言葉は知っているが... 新しい情報や取り組みに対して二の足を踏む</p>
<p>〈対象者の現在の状態（課題）〉</p> <p>他者の意見を受け入れない 自分と理念はあっても、その考えは難し 心にエビデンスを求めよ</p>	<p>〈対象者の目指すべき方向（語りに期待する効果）〉</p> <p>他者の意見に耳を傾け、共感できるようにする</p>
<p>〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉</p> <p>存在社：一緒に共生社会を学んでいる仲間</p>	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> <p>〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉</p> <p>共生社会フォーラムに参加した他組織の人</p> </div>

34

コンセプト

〈語りの対象〉

高次脳機能障害（とくに社会的行動障害）の特性や、かかり方、地域や、他機関の人と理解していき、当事者がよく住みやすい社会を作る。

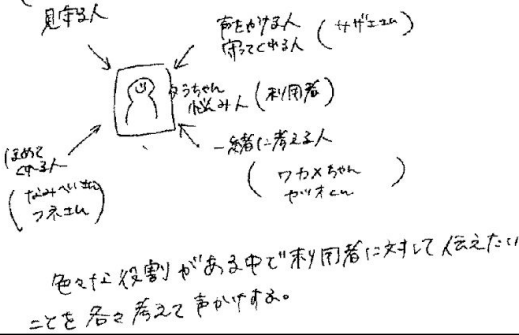
呼び名と方法

「石巻野家式」
「かたろい」

〈具体的な方法（内容）〉

可能であれば、タイムテーブルを組んでみよう！

（2人組）



〈語りの際に留意すべきポイント〉

上の〈聞き手の特徴〉もふまえて

- 順番を決めて交代して意見を出した後に声かけの練習をする。ここで自分の役割（声かけ方）について考え、時間が経て来ると普段と違う視点（キャラクター）で中絶を考へようとする。
- 事件について

当事者・家族向けプラン」の対象

シート
No. 13

〈対象者：語りを伝えたい相手〉

地域の中高生に授業している
発達障害児の保護者（主に母親）
~~年齢 障がい者 学生~~

〈対象の特徴〉

ex. 興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を聞きみにするetc...

特別支援学校に在籍しているが、~~母~~父親が養育者としており、保護者 ⇒ 療育手帳を所持している。特別支援学校を卒業している。利用開始してからの経過。

〈対象者の現在の状態（課題）〉。母親が本人に対して「対象者の目指すべき方向（語りを目指す効果）」

- 発達障害児のことで周囲に迷惑を及ぼしている。
- 保護者の周囲に相談できる人がいない。
- 自分自身にも、本人の障害についてどう説明したらいいかわからない。
- 子供自身も、障害受容ができていない。

- 子供の成長を認めて見つける（成長）
- 「障害」という言葉への自分の感情を吐き出す。
- 「自分対（周囲の人）」と安心できる。
- ~~障害者~~ 障害者としての役割を認識させる。

〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉

- ・ 支援員全員
- ・ 障がい者として生活している子供を支援する家族
- ・ 学校の先生
- ・ 村相談支援センター
- ・ 障がい児の担当医

〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉

- ・ 家族
- ・ 学校
- ・ 障がい児の担当医

【ワークC-2】アクションプラン：シチュエーション

シート
No. 14

<p>〈語りのシチュエーションの呼び名〉</p> <p>文壇朝の会 文壇朝の会 文壇サロン 「～編」とテーマをつける。</p>	<p>〈実施する頻度・期間・人数・場所〉</p> <p>1回 1.0h 1回 1.5h. <3h? 同じ年代の子で7割のグループ 作成。 1回 30分 1回 30分</p>
<p>〈具体的な方法（プログラム・内容）〉 可能であれば、タイムテーブルを組んでみよう！</p> <p>午前10時 子達が学校に行く時間帯 前中 がよい。</p> <p>10:00 集合 10:15 自由交流（自己紹介） 10:15~10:15 今日のテーマ、目的をスライド 説明 10:15~10:15</p>	<p>〈語りの際に留意すべきポイント〉 上の〈対象の特徴〉もふまえて</p> <p>事前に保護者から当日の話し手 の意向をきいておく。 性別の異なる人、年齢が異なる人 を混ぜてグループにする グループの準備 グループに来るまで 準備の</p>

【ワークC-0】

語る相手を想定する

<p>所要時間 5分</p>	<p>【作業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 語る相手を具体的にイメージする：5分
--------------------	--

【ワークC-2】アクションプラン：語りの対象

シート
No. 13-1

〈対象者：語りを伝えたい相手〉	〈対象の特徴〉 ex.興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を雑呑みにするetc...
〈対象者の現在の状態（課題）〉	〈対象者の目指すべき方向（語りに期待する効果）〉
〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉	〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉

37

【ワークC-1】

語りの場のコンセプト整理

所要時間 15分	【作業内容】 <ul style="list-style-type: none">・ 語り（対話）の場を設計するために、シート12を使ったコンセプト整理：15分
---------------------------	---

【ワークC-1】 語りの場のコンセプト整理

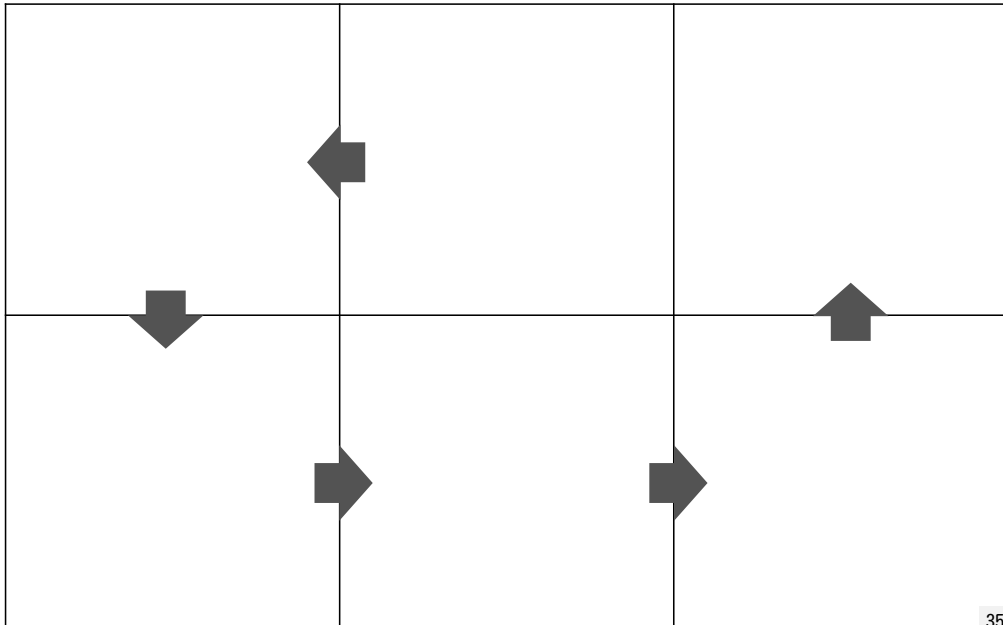
相模原事件のとき

普 段

これから

良い点

悪い点



35

【ワークC-1】 コンセプトの整理

これまでのディスカッション
(共生社会、感情の源泉、問いかけ、語りかけなど)
の場を、各自の職場で実現するためには？

◎コミュニケーションの機会や語りの場

内 部：意見交換、会議、勉強会...

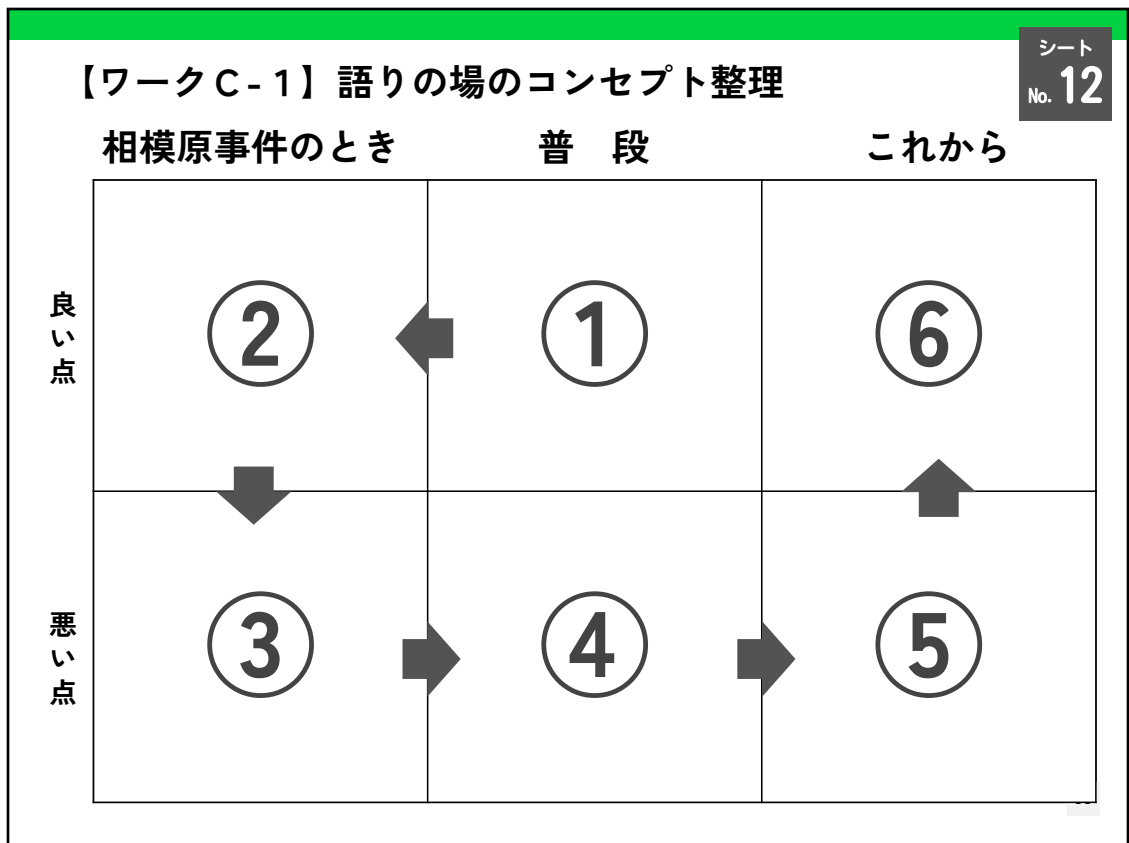
対外的：交流会、発表会、フォーラム、委員会...

<前向きに考えるために>

- ・ 現在を起点に、相模原事件から将来を考える
- ・ 良いところも、悪いところもふまえる

→ 箇条書きで整理

【事前準備シート】福祉支援語り部（中堅）			シート No. 1
ふりがな	職種	福祉業界での 経歴年数	
おなまえ	所属		
<input type="checkbox"/> 研修に参加した動機 <input type="checkbox"/> 自ら希望して <input type="checkbox"/> 推薦 または 指名されて <input type="checkbox"/> その他 ()			
<input type="checkbox"/> 研修に参加した理由		<input type="checkbox"/> 研修にあたっての不安	
<input type="checkbox"/> 相模原障害者施設設備事件のことを聞いて、あなた自身が、その当時、感じたこと、考えたこと		<input type="checkbox"/> 相模原障害者施設設備事件のことを聞いて、あなたの職場や周囲で、おこった反応や感じた雰囲気	
<small>(※質問紙調査資料「テキスト「ははえむちから」およびテキスト資料1・2 p.1～60）を添えての場也</small>			
テキスト資料3・4・5の相模原障害者施設設備事件に関連する資料（p.61-91）を読んで、あなたが気になった部分をアンダーラインやふせん等でチェックしてください。またそこからいくつかを取り上げて、内容（ポイント）を整理し、なぜ気になったかも含めて以下にまとめてください。			
気になった部分（ページ数・上から○行目など）		書かれている内容となぜそれが気になったか	



【ワークC-1】 語りの場のコンセプト整理

相模原事件のとき

普 段

これから

良い点

②
あの当時を振り返って感じた、自分の現場のコミュニケーションで、

- ・よかった点
- ・安心した点
- ・希望を感じたところ

①
現在、対内外関わらず情報共有の機会意見交換の場などで、うまくいっているいい感じ、悪くないと考えているところ

⑥
将来、このままの感じで続けたい
こういうイメージを実現したい

悪い点

③
あの当時を振り返って感じた、自分の現場のコミュニケーションで、

- ・危うさや危機感
- ・怖さ
- ・ズレや違和感

④
現在、対内外関わらず情報共有の機会意見交換の場などで、うまくいっていない、なんとかならないかと考えているところ

⑤
このまま続けるといやだなあ...
変えたい
こうなっては困る

【ワークD-0】 語りの場のコンセプト整理

相模原事件のとき

普 段

これから

前向きな考え

日頃より、倫理研修や、行動規範のチェックを実施していたので、「私たちの行は違うよね」と話し合えた。利用者様の不安に寄り添えた。(多少の安心)

STAFF 1人に対し4名ほどの利用者支援もしており、1人1人別故に行き詰まりは多くあるが、先輩や上司に気軽に(?)相談できている。関係性は悪くはない...はず。

業務内は上手に伝え合うのはもちろんのこと、ストレスなく時間外での「オフなコミュニケーション」ができると関係構築がしやすい。友だちと違ってなく必要な時に支え合える人間関係にしたい。

否定的な考え

外から来る恐怖(侵入者)が出てきたこと(夜勤時)防犯アイテム(武器)も設置に十分な話も。現場の雰囲気は怖かった...

変則業務の中でのやり違いがあり、意見を合わせてのコミュニケーションが100%はできておらず...メール等での情報共有での伝え方不足の課題。それにおける、保護者様からのクレームへの発展もあったり。

業務内でのコミュニケーションする(できる)時間が少ないのが長時間職場にいない場合はならない雰囲気になら困る。顔見合でのコミュニケーションがなくなると...

【ワークD-0】 語りの場のコンセプト整理

相模原事件のとき

普段

これから

前向きな考え

事件の次の日、取組から「家族も不安かもね」という話題があり、(道山暗のやりこ)、直接お会いした時のやりこ) 此で気づかされた。は上司に報告もどされた。
 声もまた取組から、おこね、取組も しつか、してくれた。
 放送 TV
 近江 団地
 管理事務所にて行われた。

○通所なので、昨日の様子、今日の様子も取組向で共有することができています。
 ○各部署で取組も固定しているため、情報共有しやすい。
 ○雪りと話しやすい取組が多い。
 ○上司にも 割と相談してやる。
 ○会議も近しい(夕方)

○日頃から話しやすい雰囲気と機会も多いので、テーマを決めて話し機会を設ける。
 ○取組から相談のあった暗とか雪り多機会かみた 時に、真山におこねた車(事件等)にも 取組のよ
 ○このお話を研修と他の取組も取り

否定的な考え

○事件について 話題にはなれたが、掘り下げての話はできなかった。
 ○おこねもまじは... で、いつの間にか 話題にも 含まれてしまった。
 ○話し機会をもちたかったが、思っていた作業にできなかった。
 取組へのフォロー

○2つのフロアで作業をしているが、フロア毎で情報もわかちあう。
 ○取組からの相談も多し、割と 外に 暗内カエかねる。
 ○業務の内容が中心で、おこね、X4以外 話し合いの場はない。
 (先の中にも 特設)

○このまま、相模原の事件について、話しこねるの 風にしてしよう。
 ○このような話し合いの機会が、必ず 要だと思ってるのか 自分(こね)

良い点

②
 あの当時を振り返って感じた、自分の現場のコミュニケーションで、
 ・よかった点
 ・安心した点
 ・希望を感じたところ

①
 現在、対内外関わらず情報共有の機会意見交換の場などで、
 うまくいっている
 いい感じ、悪くない
 と考えているところ

⑥
 将来、
 このままの感じで続けたい
 こういうイメージを実現したい

悪い点

③
 あの当時を振り返って感じた、自分の現場のコミュニケーションで、
 ・危うさや危機感
 ・怖さ
 ・ズレや違和感

④
 現在、対内外関わらず情報共有の機会意見交換の場などで、
 うまくいっていない、
 なんとかならないか、
 と考えているところ

⑤
 このまま続けるといやだなあ...
 変えたい
 こうなっては困る

【ワーク C-2】

アクションプランの作成

15:35
まで

【作業内容】

- ・ これまでをふまえて、シート13を使って、具体的な語り（対話）の場を設計する

【ワークC-2】アクションプラン：語りの対象

シート
No. 13-1

〈対象者：語りを伝えたい相手〉

〈対象の特徴〉

ex. 興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を鵜呑みにするetc...

〈対象者の現在の状態（課題）〉

〈対象者の目指すべき方向（語りに期待する効果）〉

シート12を参考にしながら、
職場の課題解決や業務改善ではなく、
共生社会のことを考える時間を
どこで、誰と持つのか？を考えましょう

〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉

〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉

相模原事件や共生社会を語る、という目的をふまえて、
注意するポイントなどを考えましょう

37

【ワークC-2】アクションプラン：シチュエーション

シート
No. 13-2

<p>〈語りのシチュエーションの呼び名〉</p> <p>ネーミングにも こだわってみましょう</p>	<p>〈実施する頻度・期間・人数・場所〉</p>
<p>〈具体的な方法（プログラム・内容）〉 可能であれば、タイムテーブルを組んでみよう！</p>	<p>〈語りの際に留意すべきポイント〉 上の〈対象の特徴〉もふまえて</p> <p>ワークシート、新聞記事 を使うなどの工夫も！</p>

38

【ワークC-2】プランの作成

作成にあたっての注意事項

- ◎シート8・10の「問いかけ」や「語りかけ」なども参考に
- ◎シート12の⑥が具体化できるように、
各自の現場の内外をイメージしてプランを作成
→語りの場が職場と異なる場合は、少し整理が必要
- ◎メンターから、積極的にアドバイスを受ける
具体的なイメージが湧きにくい場合は、個別相談も可
- ◎適宜、休憩をとりながら

**15:35をメドに
できる範囲で作業**

【まとめ】

総括と決意表明

<p>所要時間 15分</p>	<p>【作業内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 研修のふりかえり（5分）・ アクションプランをふまえて決意表明！（5分）
----------------------------	--

【セクションC】 メモ&ふりかえりシート

シート
No. **14**

〈研修の総括・決意表明〉

本研修の目的

全ての国民が、障害をはじめとする生きづらさの有無によって分け隔てられることなく、人の尊厳の輝きを認め合いながらともに生きる共生社会の実現が求められています。しかしながら、“生きる意味のない命がある”、“障害者は社会に不幸をもたらすだけ”という考えに同調する声もあるなかで、共生社会を実現させるためには、その基本理念について福祉分野をはじめ広く社会に普及させる必要があります。誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念等について学び、自らの実践につなげ、さらには所属や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修を組み込んだフォーラムを実施します。

01

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

§	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	共生社会の根幹にある、福祉の思想と普遍的な価値を理解する	【ワークA】研修プログラム①を考える 【ディスカッション】共生社会について考える 【全体共有】
B 昨 16:55~ 14:30	相模原障害者施設殺傷事件に対するさまざまな意見から多様な考え方と“違い”を理解する 「問いかけ」を言語化し、共感のためのいくつかの「語りかけ」を言語化する	【ワークB-0】感情の整理 【オリエンテーション】 【ワークB-1】感情の源泉の整理 【ワークB-2】「問いかけ」による言語化 【グループ共有】 【オリエンテーション】 【ワークB-3】「語りかけ」による言語化 【ディスカッション】「問いかけ」「語りかけ」の検証 【全体共有】
C 14:40 ~16:00	自分の職場をイメージしつつ、語りの場を実践していくためのアクションプランを作成する	【オリエンテーション・事例紹介】 【ワークC-0】語る相手を想定する 【ワークC-1】語りの場のコンセプト整理 【ワークC-2】アクションプランの作成 【ワークC-3】アクションプランの共有と更新 【まとめ】総括と決意表明テスト

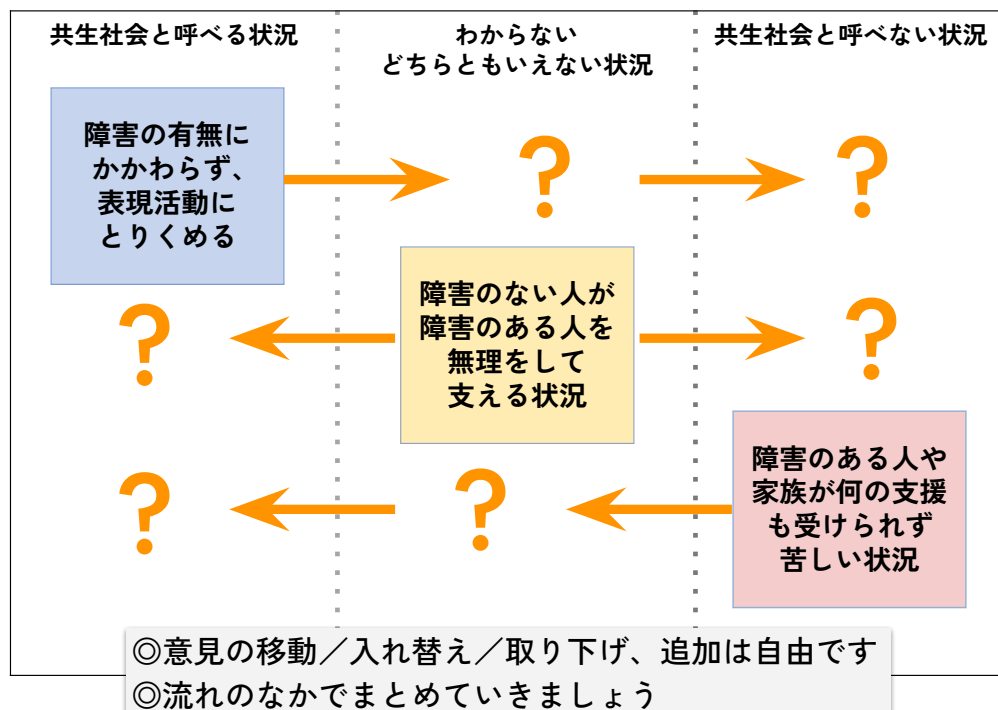
04

福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

S	到達目標	研修内容
A 15:00 ~16:55	◎二元論の思考・発想ではなく どちらともいえないという第三軸 ◎答えはでないという考え方	
B 昨 16:55~ 14:30	◎自分の内面（感情・思考）と向き合う ◎“もやもや”との対話 「わからない」「もやもや」の言語化 「問いかけ」と「語りかけ」による対話	
C 14:40 ~16:00	◎実際に、語りの場を考える	

04

【ディスカッション】



【事前準備シート】福祉支援語り部（中堅） シート No. 1

ふりがな	職種	福祉業務での経験年数
おなまえ	所属	

（研修に参加した時期）
 自ら希望して 推薦 または 指名されて その他（ ）

（研修に参加した理由）

（研修にあたっての不安）

（相模原障害者施設殺傷事件のことを聞いて、あなた自身が、その当時、感じたこと、考えたこと）

（相模原障害者施設殺傷事件のことを聞いて、あなた自身が、その当時、感じた体験等）

（所属＝福岡県資料（テキスト「ほほえむちから」およびテキスト資料1・2 p.1～60）を読んでの感想）

【ワークB-1】自分の内面と向き合う シート No. 8

相模原障害者施設殺傷事件を聞いた当時、あなたやメンバーはどう感じたのか？

テキスト資料「相模原障害者施設殺傷事件に関する市民の声」のなかで、自分の理解できない意見や価値観に対して、自分の内面と向き合うとともに、そのときに湧き起こる感情とその源泉（要因）を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）

①相模原事件についてふりかえる 持ち時間：1分

事前準備シートの「あなた自身が、その当時感じたこと、考えたこと」をもとに、メンバーに共有してください。自分の立ち位置を確認するための共有です。

◎議論ではなく、自分と向き合うための確認作業
 現在（今）と違って、変わっていた、としてもOK

◎むしろ、その「気づき」が重要です

テキスト資料3・4・5の相模原障害者施設殺傷事件に関する資料（p.61-91）を読んで、あなたが気になった部分をアンダーラインやふせん等でチェックしてください。またそこからいくつかを取り上げて、内容（ポイント）を整理し、なぜ気になったのかも含めて以下にまとめてください。

気になった部分（ページ数・上から○行目など）	書かれている内容となぜそれが気になったか

テキスト資料「相模原障害者施設殺傷事件に関する市民の声」のなかで、自分の理解できない意見や価値観に対して、自分の内面と向き合うとともに、そのときに湧き起こる感情とその源泉（要因）を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）
モ/ (p.9)	怒り、悲しみ、涙	考えが及ばない人への同情
		命ある者が、平等に生きる権利がある

②感情の源泉を考える 作業時間：10分

どの意見や言葉に対して、どのような感情をもったのか？湧き上がった感情の源泉を掘り下げていく。

◎準備シートと変わっても、変えてもOK

◎すべてを埋める必要はなく、書けるところから

◎感じやイメージが伝われば、キーワードだけでもOK

◎感情は一言でまとめる→源泉と混在を避ける

>考え方のヒント

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）
<p>メンバーの方の、一時的な変化のせい、共感、羨望</p> <p>「知らないの」残念と言っている。</p>		<p>障害者はわからないと思っている人がいるから、全く知らないことはアホと</p>
<p>他人による承認や評価に不安を感じている</p> <p>メンバーの発言の仕方が気になる</p> <p>自分の得意分野で活躍しているメンバーの姿が気になる</p>		<p>羨望、嫉妬</p> <p>自分の現状、能力、価値を比べている</p>

④感情と源泉を見直す 作業時間：5分

他のメンバーの整理や考え方を聞いたうえで、自分の整理方法を改めて見直す

- ◎無意識の「思い込み」はないか？
- ◎自分や自分の職場を例外扱いしていないか？
- ◎自己中心的な考えはないか？

メンバーによる共有をふまえて、自分の感情と源泉の整理を見直し、自分が「気づいていなかったこと」やバイアス（感じ方の癖）を確認しましょう。

発症者の感情の変化はあつたが、どのくらいか、（何のせいではいらない、何のせいでもない）という具体的な案にはなっていない。

シート
No. 9-1

語りかけ練習シート その①

以下の「問いかけ」に対して「語りかけ」を練習しましょう。

問いかけ	<p>【誰から】後輩の福祉施設職員、【何を】「介護職」の現場で働くこと、【後】</p> <p>どうしても反りの合戦、とは許されないが自分でしょうか。</p> <p>【なぜ答えに窮したと思いますか】</p>
------	--

問いかけられた状況をイメージして、まずはなぜ答えに窮したか考えます。その後、どのように語りかけるか考えてみましょう。時間は5分です。

<p>【どのように語りかけるか】</p> <div style="border: 2px solid #0070C0; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><ルール></p> <ul style="list-style-type: none"> *自分が問いかけられたつもりで主観的に「語りかけ」してみる *文章にならない場合は、キーワード+ヒトコトでもOK </div>

◎各自の「問いかけ」に、メンバー全員で「語りかけ」をする

①自分の問いかけを決める

*問いかけの内容と、誰から、
どんな状況で問われたのかを書く。

②右隣の人にシートを渡す

*自分は左隣の人から受け取って、
「語りかけ」を書く（5分）

②を繰り返す（5分×人数）

*自分のシートがもどってきたら、
メンバー全員の「語りかけ」を見て、
思いや考えを整理する（5分）

【ワークE】「語りかけ」をみんなで考える

「相模原障害者施設殺傷事件」や「共生社会のありかた」について、自分が職場や職場の
関係する人から尋ねられたら答えに悩んでしまうような「問いかけ」をまずは書きます。

誰から	問いかけ
耳員 さん	「高」添うてはどんな事がある？ 具体的に教えて「F」
あなたのなまえ（ ）	

メンバーからの反応・語りかけ

なまえ
到着する、意味が分からない、いい話、話の運びは、聞き取れない、一度は聞き取れ たが、自分から自分の意見や感想を、話し合いたいという気持ちがある、 「共生社会」という言葉が、自分にとって、 「共生社会」という言葉が、自分にとって、
その方は、話を、大切に、聴き、そのとき、同じ時間と共有 している、 「共生社会」という言葉が、自分にとって、 「共生社会」という言葉が、自分にとって、
「共生社会」という言葉が、自分にとって、 「共生社会」という言葉が、自分にとって、
「共生社会」という言葉が、自分にとって、 「共生社会」という言葉が、自分にとって、

自らの問いかけ、メンバーからの反応・語りかけに対する思いや意見の整理

* 書き出した問いかけは、自分にとって、
「共生社会」という言葉が、自分にとって、

【ワークC-1】 語りの場のコンセプト整理

シート
No. 12

相模原事件のとき

普段

これから

前向きな考え

②

あの当時に振り返って
感じた、自分の現場の
コミュニケーションで、
・よかった点
・安心した点
・希望を感じたところ

①

現在、対内外関わらず
情報共有の機会
意見交換の場などで、
うまくいっている
いい感じ、悪くない
と考えているところ

⑥

将来、
このままの感じで
続けたい
こういうイメージを
実現したい

否定的な考え

③

あの当時に振り返って
感じた、自分の現場の
コミュニケーションで、
・危うさや危機感
・怖さ
・ズレや違和感

④

現在、対内外関わらず
情報共有の機会
意見交換の場などで、
うまくいっていない、
なんとなくならないか、
と考えているところ

⑤

このまま続けると
いやだなあ...
変えたい
こうなっては困る

【ワークC-2】アクションプラン：語りの対象

シート
No. 13-1

<p>〈対象者：語りを伝えたい相手〉</p>	<p>〈対象の特徴〉 ex.興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を鵜呑みにするetc...</p>
<p>〈対象者の現在の状態（課題）〉</p>	<p>〈対象者の目指すべき方向（語りに期待する効果）〉</p>
<p>シート12を参考にしながら、 職場の課題解決や業務改善ではなく、 共生社会のことを考える時間を どこで、誰と持つのか？を考えましょう</p>	
<p>〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉</p>	<p>〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉</p>
<p>相模原事件や共生社会を語る、という目的をふまえて、 注意するポイントなどを考えましょう</p>	

37

【ワークC-2】アクションプラン：シチュエーション

シート
No. 13-2

<p>〈語りのシチュエーションの呼び名〉</p>	<p>〈実施する頻度・期間・人数・場所〉</p>
<p>〈具体的な方法（プログラム・内容）〉 可能であれば、タイムテーブルを組んでみよう！</p>	<p>〈語りの際に留意すべきポイント〉 上の〈対象の特徴〉もふまえて</p>
<p>ワークシート、新聞記事 を使うなどの工夫も！</p>	

38

【メモ】

40

【メモ】

41

【お礼と感謝】

受講生の皆さま、お疲れさまでした。

建設的かつ積極的な議論の時間と
運営へのご協力ありがとうございました。

研修を支えていただいた皆さま、
ご協力ありがとうございました。

【閉会あいさつ】

共生社会フォーラム in広島 開催委員会

〇〇〇〇〇〇〇〇

共生社会様

【事務連絡】

- ・ **アンケートのご記入・ご回答をお願いします。**
→メンターは個別にアンケートをお送りします。
- ・ **ワークシート**（1週間程度で返送予定）、
記入した**アンケート**を前の箱に入れてお帰りください。